

組織現勢（5月1日現在）

組合員数	19,894人
出資口数	94,249口
4月の新規加入	26人
4月の増資口数	218口

No. 382 再生紙を使用しています。

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合
本部事務局 大田区大森東4-6-15-101
TEL (3762) 0266
振込銀行 さわやか信用金庫大森支店
口座(普) 0469459
発行 「城南の保健」編集委員会
毎月1回発行・定価1部 30円



大石又七さんも原発ゼロの訴え



5月10日(日)、「福島を忘れるな！再稼働を許すな！」5・10大田から原発ゼロ大パレードが開催されました。
夏のような暑さの中、450人が参加。「再稼働反対」「原発なくせ！」などのプラカード

大田から原発ゼロを訴え 450人が大パレード

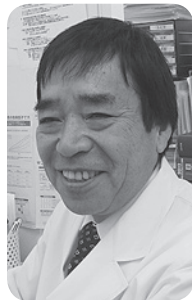
を掲げ、パレードをしました。会場には実行委員長で、第5福竜丸の乗組員・大石又七さんも駆けつけ、原発ゼロを訴えました。
城南保健生協からも多くの組合員さんが参加しました。

品川区は、40歳以上で、保険に無関係にできます(年1回)。大田区は、40歳以上で200円の負担でできますが、40歳以上の5歳刻みで無料クーポン券が配布されます。実施期間は7月1日～来年2月29日までです。

2011年のゆたか診療所の実績では、1167人の受診者中104人が便潜血反応陽性、内41人が大腸内視鏡を受け、8人の大腸がんが発見されました。1人が開腹手術、他は内視鏡的切除で済んでいます(未精査の63人が心配ですが)。

「大腸がん検診」には、「便潜血反応」

2人に1人はがんになり、3人に1人はがんで死ぬ。現代の



常識です。
1981年以降、死因の1位はがんで29%。その内訳は、男性では、①肺、②胃、③大腸、④すい臓、⑤肝臓、女性では、①大腸、②肺、③胃、④すい臓、⑤乳房の順です。

健診・検診のすすめ

ゆたか診療所 所長

権守 光夫

今年もやってきました

6月1日～7月31日

大腸ガン検診月間

(年に1回は大腸ガン検査を)

大腸ガンは早期であれば、ほぼ100%完治すると言われています。

定期的に便潜血検査を受けましょう。

検査キットは1,000円です。容器に便を少量取り、問診票と容器を郵送することで検査を受けられます。検査結果も郵送で届きます。

不肖、私は大腸がんで10年前に大田病院で手術、肉眼的血便を1年以上も無視していましたので、正に「医者の不養生」、足腰をきたえきえて、癌になり(山阿茶川大阪の女医さん)という川柳通り、運動していてもがんにはかかりません。でも大学教授でも、ご自分のことになると楽天的に考えるようで、山口仲美著『大学教授ががんになってわかったこと』(幻冬舎新書)にも、私と同じ過ちが率直に書かれていました。

中高年以上の胃がんは、決して減ってはいません。

大田区では、バリウムによる「胃がん検診」が35歳からできます(1000円)。実施期間は7月1日～来年2月29日までです。

品川区では、2012年から、血液でヒロリ菌の抗体とベプシノーゲン(胃がんリスク検診)が、50～75歳の5歳刻みでできます(700円・年1回)。バリウムによる検診は、医師会です(1200円)。

「胃がん検診」と「胃がんリスク検診」

この「リスク検診」の実績は、2013年度は、品川区民対象者2万4969人中3098人(12%)が受診、要精査1173人で内視鏡受診者782人、内1.9%の15人に胃がんが効率よく発見されました。私は大田区民ですので、自費で受けましたが(当法人では3000円+消費税240円)、一生に1回で良いので安いと思います。

一般検診の検尿で、尿蛋白(+)・尿潜血(+)以上)の場合、『顕微鏡的血尿ガイドライン』では尿沈査を行い、赤血球5個以上/視野で腹部エコーをしますと、この5年で2例の腎臓がんが見つかりました。最近では膀胱がんが3例も見つかり、検診の重要性を再確認しました。

品川区では、2012年から、血液でヒロリ菌の抗体とベプシノーゲン(胃がんリスク検診)が、50～75歳の5歳刻みでできます(700円・年1回)。バリウムによる検診は、医師会です(1200円)。

品川区では、2012年から、血液でヒロリ菌の抗体とベプシノーゲン(胃がんリスク検診)が、50～75歳の5歳刻みでできます(700円・年1回)。バリウムによる検診は、医師会です(1200円)。

城南福祉医療協会の 各事業所でも受けられます

特定健診・長寿健診(後期高齢者健診)がはじまりました

大田区特定健診・品川区国保基本健診

対象 40歳～74歳で大田区・品川区の国民健康保険加入者
国民健康保険以外の方は加入している保険者にお問い合わせのうえ、大田区民は受信票、品川区民は受診券をとりよせてください(予約が必要となります。負担金が発生する場合があります)。

*年度内に75歳になる方は、誕生日の前日までに受診してください。

期間 大田区・品川区とも、受診票(券)到着～来年3月末日まで

大田区長寿(後期高齢者)健診・品川区後期高齢者健診

対象 75歳以上で大田区・品川区の後期高齢者医療証をお持ちの方

期間 大田区・品川区とも、受信票(券)到着～来年3月末日まで

★受診票(券)・保険証をお持ちください。

★社会保険加入の家族の方は、加入する保険者から受診券をとりよせてください(負担金が発生する場合があります)。

大田区健診検査項目

問診、身体計測、身体診察、血圧測定、血液検査、尿検査、その他、医師の判断により受診できる項目。心電図検査、胸部X線検査、眼底検査、貧血検査

品川区健診検査項目

問診、腹囲、血圧、身体測定、血液検査、尿検査、その他、医師の判断により眼底検査と心電図検査を実施することがあります。



腹八分

「再び若者を戦地へ送らない」70年前の日本の誓いでした。以来、日本の青年は誰一人海外での戦闘に加わることなく、かつ外国の青年の命を奪うことがありませんでした。世界に誇るべき歴史の真実です。それが今覆されようとしています。連立政権が推し進めようとしている「戦争立法」が、国民の上に重苦しい影を落としています▼

「戦争立法」の推進勢力はかつての15年戦争を、軍国主義時代の大東亜戦争という呼称にこだわる特異な歴史観を持つ集団です。この集団は70年前に無条件降伏で終結した戦争を、日本の国益を守り民族の存続をかけた正義の戦争と描いています。武力の威嚇を背景に、アジアの諸国に攻め込み、多大な惨禍をもたらしたのは世界史の認める事実です。「戦争立法」推進勢力はその事実を認めようとはせず、「先の戦争は、後世の歴史家が判断するもの」と繰り返して、アジア諸国との溝を深めています▼かつての日本は軍部の暴走を食い止めることができず、戦線は拡大の一途をたどり、政府や軍部の責任体制もあいまいで、常に作戦に無理と乱れがありました。世界戦史の中でもその無責任は他に類を見ないほどだったと、最近の研究者が指摘しています。「やがて神風が吹く」こんなことは、他の国ではおおよそ考えられないことです▼かつての15年戦争を推進した勢力は、今も日本の支配層として戦争立法の成立を企てています。しかし、今は戦前と違って「戦争をする国にさせない」の声が日本国中に広がっています。